

●市功労表彰式を開催

令和5年度安曇野市功労表彰式が1月4日、市役所大会議室で行われ、さまざまな分野で貢献された15人・2団体・3法人に太田市長から表彰状・感謝状が贈られました。受賞者は次の皆さんです。(順不同)



後列左から教育長 橋渡勝也、副市長 中山栄樹、須坂節子、北原正幸、輪胡悦子、青柳博和、飯沼千賀子、農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合 (組合長 小笠原明彦)、副議長 小林純子
前列左から大曾芳雄、あやめ保存会 (代表 柴義雄)、特定非営利活動法人子育て支援ばおばお (理事長 小口茂子)、安曇野・クラムザッハ友好会 (代表 花村薫)、市長 太田寛、議長 松枝功、鈴木克保、神谷健、逢沢典子 (敬称略)

※当日欠席された皆さんには後日伝達

表彰状

文化功労
安曇野・クラムザッハ友好会様
長きにわたり市とクラムザッハとの交流の懸け橋となり、市の文化交流の促進に貢献されました。

消防功労
青柳 博和 様
増澤 賢治 様
藤田 万律 様
安曇野市消防団分団長などを歴任され、20年以上にわたり消防団活動に貢献されました。

社会福祉功労
逢沢 典子 様
保護司として20年にわたり活躍され、更生保護活動と明るい社会づくりに貢献されました。
北原 正幸 様
須坂 節子 様
輪胡 悦子 様
民生委員・児童委員として15年以上にわたり活動され、社会福祉の増進に貢献されました。
特定非営利活動法人 子育て支援ばおばお 様
地域の子育て拠点として多年にわたり活動され、市の社会福祉増進に貢献されました。

保健衛生功労
神谷 健 様
学校医として46年にわたり、学校保健の推進および児童生徒の健康の保持増進に貢献されました。
故 田中 紀代子 様
学校薬剤師として58年にわたり、学校保健の推進および児童生徒の健康の保持増進に貢献されました。

感謝状

地域振興功労
あやめ保存会 様
多年にわたりアヤマの復活・再生に尽力し、地域の活性化に貢献されました。

統計功労
大曾 芳雄 様
鈴木 克保 様
古澤 孝雄 様
統計調査員として10年にわたり統計行政の指針に貢献されました。

消防功労
飯沼 千賀子 様
唐澤 清 様
小林 功 様
長きにわたり消防業務に従事され、安曇野市消防団分団長として消防団活動に貢献されました。

寄附

農事組合法人 旬の味ほりがね物産センター組合 様
教育環境の充実のため、電化製品および図書券等を寄附され、市の教育行政に貢献されました。
株式会社ノジマ 様
社会貢献活動として多年にわたり電化製品等を寄附され、地方自治の振興に貢献されました。

このほか左記の皆さんに感謝状を贈呈しました。(順不同)
公益財団法人ハーモニック伊藤財団 様
小中学校の図書購入費として多額の金員を寄附され、市の教育の向上に貢献されました。
サスナ力通信工業株式会社 様
子ども関連事業の運営・整備費として多額の金員を寄附され、子育て施策の向上に貢献されました。
大成測量設計株式会社 様
ヤングケアラーの支援として多額の金員を寄附され、子育て施策の向上に貢献されました。

アルプスあづみのセンチュリーライド実行委員会 様
自転車道路の環境整備費として多額の金員を寄附され、市政発展に貢献されました。
川井 頼能 様
緑のまちづくり事業の支援として多額の金員を寄附され、緑化推進に貢献されました。
明治安田生命保険相互会社松本支社 様
市民の健康増進事業への支援として多額の金員・物品を寄附され、市民の健康づくりに貢献されました。

表敬訪問

大日本蚕糸会 蚕糸功労賞を受賞

長年にわたり天蚕振興に携わったとして、木口和英さん(穂高有明)が大日本天蚕会から蚕糸功労賞を受賞しました。11月1日に帝国ホテル(東京都)で表彰式が行われ、12月21日、安曇野市天蚕振興会の田口会長と市役所を訪れ、太田市長に喜びを報告しました。



左から太田市長、木口和英さん、田口忠志会長

消防団 PR ムービーコンテスト 優秀賞を受賞

市消防団が、総務省消防庁の「消防団PRムービーコンテスト」ショート部門で優秀賞を受賞しました。12月にTOKYOFMホール(東京都)で表彰式が行われ、19日、二木団長とショウくんが市役所を訪れ太田市長に喜びを報告しました。



動画は下記からご覧ください。



Youtube

特別職の報酬引き上げへ 特別職報酬等審議会が答申

市特別職報酬等審議会(中野武会長)は11月29日、市長と副市長、教育長の給料、市議会議員の議員報酬を増額するよう太田市長に答申しました。

審議会は、令和5年8月に太田市長から諮問を受け慎重に審議を重ねてきました。市の特別職の報酬額は市発足後一度も改訂がなく、中野会長と尾基会長代理は「人口や議員数、財政規模等がほぼ同じ飯田市と佐久市の平均額まで引き上げることが適当」と答申書を手渡しました。

太田市長は「改訂には条例改正が必要。社会情勢を勘案し検討したい」と応じました。答申書の金額は次のとおり。

- 市長、副市長、教育長
 - ▷市長 月額94万7000円(1万9000円増)
 - ▷副市長 月額77万4000円(6000円増)
 - ▷教育長 月額67万7000円(2万3000円増)
 - 市議会議員
 - ▷議長 月額49万6000円(3万7000円増)
 - ▷副議長 月額43万5000円(5万2000円増)
 - ▷議員 月額40万6000円(4万6000円増)
- ※政務活動費の額は年額12万円です。